

※ ○印・・・活動予定内容 (●印・・・活動の成果) ※ ▲印・・・現在、未実施の活動
 ※ 斜体ゴシック (◆)・・・各取組の目的・付けたい力 ※ 網掛け部分・・・今年度実施しなかった活動

目標	ふるさと福井に誇りや愛着をもち、地域のために主体的に行動する児童の育成						
月	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
4			安居地区について調べよう 【社会・総合】 ◆地域の歴史や文化・特色について知ることによって人々の思いや願いに気付く ○安居地区がどんなところなのかを知る。	福祉について考えよう① 【総合】 ◆福祉について、自分のテーマごとに調査活動を行い、福祉の様々な取組を学ぶ。 ○聴覚障害者の生活について、テーマごとに調べ、まとめたことを発表する。			
5		さつまいもや野菜の苗植え 【生活】 ◆野菜の栽培を通して生命の成長に気づき、愛着をもって育てようとする ○地区の方に、植え方と育て方を教わりながら苗植えを行う。	安居地区についてわかったことをスピーチしよう 【社会・総合】 ◆地域が誇りにしていることを学ぶ中で、人々の思いや願いに気付く ○地域にある神社や石碑、施設など、安居地区の宝について調べる。	福祉について考えよう② 【総合】 ◆障害者などへの理解から、地域の中で自分たちのできる福祉について考えることができる ○身近なバリアフリーについて調査しよう。 ○視覚障害者の生活の様子を聞いたり、車椅子の体験をしたりして、地域でできる福祉について考える。	なかよし田の田植え 【社会・総合】 ◆学校田での田植えを通して食糧生産の大切さと人々の工夫を学ぶ ○地区の方に植え方を教わりながら田植えをする。		
6		町たんけん 【生活・国語】 ◆地域のさまざまな場所や人との関わりを広げて、地域に親しみをもつことができる ○地域のお店や施設を訪ねし仕事の様子や地域のことなどの話を聞きまとめる。	安居地区についてさらに調べよう。 【社会・総合】 ◆地域が誇りにしていることを学ぶ中で、人々の思いや願いに気付く ○地域の人から、未更毛川のホタルや高雄神社について説明を聞く。 ○ゲストティーチャーを招いて学習し、発表資料をまとめる。		なかよし田の稲刈り 【社会・総合】 ◆学校田での稲刈りを通して食糧生産の大切さと人々の工夫を学ぶ ○地域の方に稲の刈り方を教わりながら稲刈りを行う。	アナウンスリーダー講習会【国語・特活】 ◆多くの相手に聞きやすく話をする方法を身につける ○全校児童や地域の方が集まる場でのアナウンスの仕方を教わる。	交通安全教室 【学校行事】 ◆歩行や自転車乗りの正しい交通ルールを確認し訓練することで、交通安全に関する意識を高める ○警察署の方に交通ルールを教わる。
7							
8							
9		さつまいもの収穫 【生活】 ◆野菜の収穫を通して、収穫できた喜びと食物への感謝の心を育てようとする ○学校や地区の方の指導で、さつまいもを収穫する。					
10		福井の伝統産業を学ぼう 【生活】 ◆福井県の伝統産業である越前焼について学び、ふるさとの優れた産業や文化に誇りをもつことができる ○越前陶芸村へ行き、越前焼の歴史を学んだり陶器作りを体験したりする。	くらしを守る 【社会】 ◆地域の人々の生活を守る仕事を知り、健康や安全に気を付けて活動しようとする意識をもつ ○地区の消防署などを見学し、生活を守る仕事について調査する。	福井の伝統産業を学ぼう 【社会】 ◆福井県の伝統産業である越前和紙について学び、ふるさとの優れた産業や文化に誇りをもつことができる ○パピルス館や卯立の工芸館等へ行き、越前和紙の歴史を学び、紙作りを体験する。	安居っ子米の販売 【社会・総合】 ◆学校田で収穫した米の販売を通して生産と流通の大切さを学ぶ ○PTA 祭で米作りの取組紹介と収穫した米の販売を行う。	ふるさと福井の宝 【社会・総合】 ◆福井の宝をさがし、深く追究することで、県民の思いや願いに気付く ○福井県が全国に向けて発信している観光文化の調査活動を行い、修学旅行で実際に目で触れたり体験したりする。	小中交流活動 【道徳・総合】 ◆地域や社会のために貢献できることを考えたり計画したりすることで、児童の自主性を伸ばし地域連帯感・郷土愛を育てる ○小中学生の縦割り班で地域活性化活動を行う。
11	たのしいあきいっぱい 【社会】 ◆秋の自然物を探しながらおもちゃや飾りを作り、みんなで遊びを楽しむことができる。 ○神社や校庭で見つけた木の実や葉を用いておもちゃを作る。		◆商業や流通のしくみを学びながら、地域の人々との結びつきに気付く ○おさごえ民家園、かまぼこ工場を見学し、商品の売買や流通について学習し、地域の生活とのつながりを考える。	福祉について考えよう③ 【総合】 ◆高齢者と交流をし、福祉についての理解を深める ○地域のお年寄りに、学習のまとめを発表したり、一緒にゲームをしたりして、福祉についての理解を深める。	宿泊学習 【社会・総合】 ◆福井市の施設を利用し、福井の自然や歴史・文化に親しむことができる ○一乗谷で福井の自然や歴史・文化に触れ福井の良さを調べる。		
12	昔遊びをしよう 【生活】 ◆昔から伝わる遊びの良さや楽しさ、地域の人の優しさに気付くことができる ○地域の人から、昔遊びを教わりながら一緒に遊んで楽しむ。		安居子ども観光大使認定式 【総合】 ◆安居地区をPRすることを通して、ふるさとに愛着や誇りをもつことができる ○安居中生との交流発表についてのアドバイスを受ける。 ○安居地区について調べたことを公民館ふるさと大学で発表する。安居子ども観光大使として公民館から認定を受ける。		福井の企業を見学しよう 【社会】 ◆福井の情報産業と企業について学び地域の人々との結びつきに気付く ○福井の情報産業をリードする福井放送を見学し、情報と企業の様子を学習し、地域の生活とのつながりを考える。		
1		※国際交流理解「ハローワールド」活動					
2			※居住地交流活動 福井南特別支援学校 昨年度は作品(データ)交流を行った。				
3							

年間 年間通して・・・読み聞かせ【朝の活動】／書道【朝の活動・授業】／華道【朝の活動】／珠算【授業】
 ◆お話を聞かせてもらうことで、本の楽しさに気付くと同時に、地域の方に感謝する心を養う
 ○朝の活動の時間に、地域の読み聞かせボランティアに来てもらい、各学年に交代で読み聞かせをしていただく。年間 40 回計画
 ◆毛筆の書き方について教えてもらうことで、書道の楽しさに気付くと同時に、地域の方に感謝する心を養う
 ○書道の授業時間に、地域の書道ボランティアに来てもらい、毛筆の書き方について指導していただく。年間 20 回計画
 ◆お花の生け方や草花についてのお話を聞かせてもらうことで、植物を大切にすることに気付くと同時に、地域の方に感謝する心を養う
 ○朝の活動の時間に、地域の華道ボランティアに来てもらい、各学年に交代でお花の生け方や草花についてのお話をさせていただく。年間 20 回計画
 ◆そろばんの方法について教わることで、数の数え方やそろばんの楽しさに気付くと同時に、地域の方に感謝する心を養う
 ○算数の授業時間に、地域の珠算ボランティアに来てもらい、中学年に交代でそろばん指導をしていただく。年間 10 回計画